

# NPOと市民をつなぐ みやしるべ

創刊号

目次	
創刊挨拶 東 朋子 委員長	1
NPO 訪問記	
グラスルーツ	2
こころ・からだ研究所	3
ツーリズム西宮楽らく探見隊	4
西宮市マンション管理組合ネットワーク	5
パソコンを弾く研究会	6
兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会	7
アンケート集計報告 他	8



発行者：西宮市・NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会 発行日：平成27年3月15日



## 【委員長挨拶】

平素は、NPO等公益活動市民団体と行政との協働会議（以下「協働会議」）およびNPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会（以下「実行委員会」）の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、実行委員会では市民の皆さんと市内のNPO等公益活動市民団体（以下「NPO等団体」）との交流並びにNPO等団体への理解促進を目的に、広報誌「みやしるべ」を発行することとなりました。

西宮市内のNPO法人は平成27年2月現在で177法人を数え、西宮市市民交流センター登録団体は41団体となり、毎月増加の一途をたっています。

しかし未だ多くの皆さんに、活動内容やその目的、意義をお伝えできておりません。私は日々の活動の中で「心ゆたかに暮らしたいなら、それが職場であっても、住んでいるまちであっても、その地域のHAPPYのカタチに協力する市民でなければならない。」と話しています。この姿勢は、地域で暮らす皆さんも、課題解決を目的とするNPOの皆さんもまったく同じではないでしょうか。

同じ思いを持つ両者が、互いを尊重し合いながら、寄り添い、課題に向かってアイデアを出し合い、役割分担をしながら前に進んでいく。そのためにはまず「互いを知ること」から始め

なければなりません。

この広報誌を通じて、NPO等団体が様々な活動に取り組んでいること、お役に立てるよう努力を重ねていること、そしてとても暖かな、近い存在であることを知って頂きたいと思っています。

そして、両者が手を繋ぐ中で忘れてはならない存在が行政の皆さんです。

市は福祉、子育て、環境、まちづくり等の様々な地域課題に取り組めるよう、対等な立場で協議・情報交換等を行う会議を設置し、提案の具現化を目指しています。この広報誌が皆さんに愛され「市民」「行政」「NPO等団体」のちょうど潤滑油のような存在であり続け、支えられながら継続的に発行していければと思っています。「みやしるべ」がNPO等団体の「道しるべ」になりますよう、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。発刊の挨拶とさせていただきます。

では、早速ページを開いて、市内を代表するNPO等団体の皆さんの活動内容をご覧ください。

平成27年3月吉日

NPO等公益活動市民団体と行政との協働会議NPO部会長  
NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会 委員長

東 朋子

### NPO等公益活動市民団体と行政との協働会議とは？

市内のNPO等公益活動市民団体（以下「NPO等団体」）と市が協働して、福祉、子育て、環境、まちづくり等の様々な地域課題に取り組めるよう、NPO等団体と行政がその方策について、対等の立場で協議・情報交換等を行う場です。協働会議はNPO部会と行政部会で構成され、各部会の代表が、それぞれの部会からの提案等をもとに協議、検討を行っています。NPO部会は、市内177のNPO法人（市内に主たる事務所を持つ全てのNPO法人）と西宮市市民交流センターの登録団体によって構成されています。

### NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会とは？

NPO等公益活動市民団体と行政との協働会議のNPO部会の有志によって構成され、NPOフェスティバルの開催や広報誌の作成等により、広く市民の皆さまにNPO等市民団体の活動を知って頂くための活動を行っています。



## NPO 訪問記

No.1

NPO 法人

# グラスルーツ

Creative Debate for GRASS ROOTS

### 第一印象

インターネットやガイドブックで少し予備知識を仕入れ新大阪にある大阪市立青少年センターでグラスルーツが主催している「冬休み小学生地獄の英語合宿」の様を見学させていただきました。

その時間帯では英語の音ということを実技を通じて感得してもらおうというような雰囲気があり、昔学校で教えてもらった発音というよりは音楽での発声練習のような印象を受けましたが、電子ピアノで音楽を弾きながらゲームのように発音に慣れさせていく過程は、これは何かがあると期待が湧いてきました。



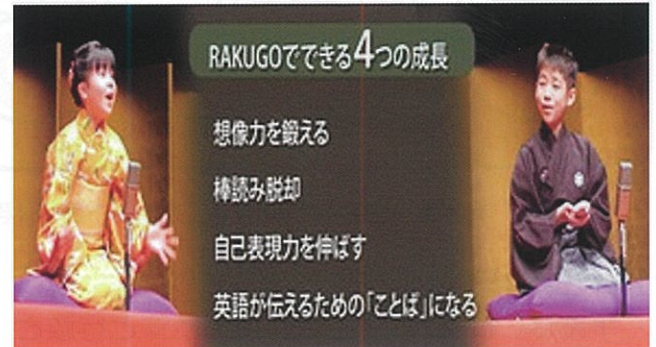
この時は見れなかったのですが英語落語を子どもの英語教育に採り入れるというユニークな発想を根底に持ちながら基礎は正確に教えて徹底して習得させるという「楽しさの中の厳しさ」をモットーとしている趣旨が伝わってくるようでした。



### 落語のできる四つの成長

こども教育に英語落語を採りいれているのは

「想像力を鍛える」「棒読みを脱却する」「自己表現力を伸ばす」「英語が伝えるためのことばになる」という成長が図れるからであって英語落語の芸人を育てようとしているのではないことは理解できます。



「好奇心を持つ→想像力を働かせる→創造への道を拓く」というサイクルが自然に身についた子ども達が成長したとき、新しい世紀は素晴らしい世界となるように期待されます。

今のところ、子どもの教育という面が表に出っていますが全く逆の立場である高齢者にも、「英語落語を通じて孫との交流実践」というような機会が生まれれば「異世代といういわば外国人同士」のような関係が「ことばの通じる者同士」としての新しい関係に生れ変わるかもしれません。



### 女性集団としての特色

20名近くの役員全員が女性というユニークさをお聞きしてみました。「特に意識したものではなく結果としてのもの」ということですが、教えると共に自らも学ぶという共通した想いがあるとのことでした。

まさに「こんな教育があったらいいな」を実現する場所としてのグラスルーツの一端を垣間見て、「落語を地でいける男性教育者」の参入も間もなく出て来るのではないかと思われました。

〒669-1141 西宮市塩瀬町名塩5117-3  
西宮名塩東山グリーンマンション309号  
TEL:090-3896-9054  
事務局 中野 登美子



## NPO訪問記

No.2

NPO法人

## こころ・からだ研究所

阪急電車苦楽園口を出てすぐ、NPO法人こころ・からだ研究所のオフィスを訪ね、理事長のくぼかおりさんからお聞きしました。



## 活動テーマは「親子の愛着」

幼少期における親子の愛着が活動のテーマで、“ベビーマッサージ”など、ご自身の生活体験を生かした社会貢献を実践されています。

そんな理事長の人柄や行動力に賛同するスタッフと連携して、心身ともに健康な子どもを育てる。とりわけ親子で体験できるイベントなどを積極的に企画され実行され親子のコミュニケーションを大切に、活動を展開しています。

時には付近の農園、時には公民館、時には大きなホール…と、場所を確保し、そこで何が出来るかを考察して実行する。そんな彼女を支えるのは“西宮市の良さ”を誰よりも感じておられるからでした。

全国的に少子化時代と言われていますが、西宮市と横浜市港北区などの一部地域では子どもが増えているそうです。

そんな町だからこそ、全国のモデル地域として社会問題であるいじめ、引きこもり、ニート、自殺等をなくす地域として幼少期の親子関係の重要性を、親や行政に認知してもらい、市民全てが健全に成長する町となることを期待していきたいそうです。

## 資金調達が課題

ただ、多くの親子さんへ発信していくことを望んでいる反面、収益活動を行っていないため、活動経費の捻出が課題です。

昨年のクリスマスコンサートはスタッフの皆さんの情熱と行動力でクラウドファンディング

での実施にこぎつけられましたが幼少期のお子さんと親御さんのための“離乳食講座”や“子育て茶話会”などは、心が通いあう定例会であり、“親子でお味噌づくり”や“収穫祭”と題



する農業体験は継続的な子どもへの思いやりと次代につなぐ地域密着型NPO活動であり、地の利を生かして「子ども達を土に触れさせたい。」野菜を作ったり、稲刈りを体験させる。そして、生ごみのたい肥作りを教え、失われていく自然との共生を幼い頃に体験させる。



このような事業に共感し協力や共同作業を申し出る団体や市民の方々が増えることを願っていますとのことでした。

cococala(ここから) はじまる、みんなの未来！ということで、団体の愛称を「cococala(ここから)」とされているようです。

また、理事長は子ども達の未来に向けて子育ては親だけがするものという観点ではなく、周囲の大人が育てる保育施設を創設することを目標にされています。

社会が子育てできる街の実現に向けて、目を輝かせてお話しされる姿が、とっても印象的でした。

〒662-0074 西宮市石劔町9-20

TEL/FAX:0798-70-4487

代表者 くぼ かおり



## NPO訪問記

No.3

### ツーリズム西宮 楽しく探見隊

西宮の街歩きに興味のある方必読！西宮観光協会とタイアップして市内の観光ガイドをされているのがツーリズム西宮楽しく探見隊の皆さんです。昨年のまちたび博への出動は8回。代表の栗野さんにお話を伺うことができました。

もともとH.4兵庫県主導で「心豊かな人づくり」が謳われ、H.9西宮でも「西宮ココロソクラブ」がたちあげられたそうです。その中で震災後の仮設訪問、現在のお手玉の会やくぐつ座と並んで活動展開され、H.19団体として独り立ち。現在は24名ほどの会員で全員がみっちり3日間の研修を受け、「酒ぐらルネサンス」でガイドデビューします。男女半々ぐらい、8割が60才以上、人生経験豊富で、私の予想では、たぶんおしゃべり好き。会議が迷走することないのかしら？と疑問をぶつけてみたところ、「議論はするけど、ありがたいことにへんなツッコミはなくて、話はまとまっていく。それは恵まれていると思う」とのこと。どこの組織でも「我を通したい人」はいるものですが、ツーリズムさんはまとまりのある印象を持ちました。長年の活動実績、市や観光協会からの信頼はこういうコミュニケーションの良さから生まれるのでは？と思いました。



3年前からプログラムとして「子ども観光ガイド」を企画し、西宮神社の境内を案内する子どもたちを育成しています。6月ごろから夏休み中心に12回ほどのトレーニングを積み、秋に本番です。いろんな性格やまた、多忙(?!)なお子さんがいて、なかなか思うようにプログラムが進まないことが多々あり、本当に苦労さ

られています。が、本番でおとな相手に懸命にガイドする子どもや孫を見て、感極まって涙すご家族の姿をみると、苦労もふつとぶ、とおっしゃっていました。また、これまでのガイドの中で、大きなトラブルや苦情がないことも、大変ありがたいことだとも。たとえボランティアでも、お客さん側にもいろんな人がいるから、ガイド内容に対する苦情などが多いかと思っていましたが、そうでもない…やはり、「楽しんでほしい、知ってほしい」というガイドさんたちの思いや純粋な一生懸命さが伝わるのだらうと思いました。最近は旅行会社や鉄道会社も商魂たくましく、様々な観光、まち歩きプランを用意しており、情報もあふれんばかり。そんな中で、観光ガイドと子どもの体験学習をからめるあたりは、楽しく探見隊の実力発揮といったところでしょう。



昨年度は30回ほどガイド依頼があったようですが、今年度は少し減り、巻き返しを図るために新たなコースの開拓も始めておられます。12月には皆で甲子園球場界隈へ出向き、ガイド内容のチェックをされました。2時間半のモデルコースのバリエーションが増えそうです。少人数から団体までOK、たいてい1グループに1名のガイドが派遣されますが、1000円！という驚きの料金。

西宮のええところを探して見つけて楽しく案内する「ツーリズム西宮楽しく探見隊」。お客さんの「ありがとう！また来たい！」という言葉に元気づけられて、これからも地道な活動を続けていけます。一緒にええところめぐりを体験しませんか？

観光ガイドのお申込み・お問い合わせ  
西宮観光協会 TEL:0798-35-3321  
ツーリズム西宮楽しく探見隊  
〒662-0942 西宮市浜町2-35-1404  
代表者 栗野 光一 TEL:0798-34-8545



## NPO 訪問記

No.4

NPO 法人

西宮市マンション  
管理組合ネットワーク

(略称：NMねっと)

西宮市では現在分譲マンションが2000を超えられていると言われています。分譲マンションは区分所有法により、管理組合が設置され、マンションの維持管理は管理組合により行われることとなります。管理組合の運営は組合員の中から代表を選び、理事会で行われますが、理事の選出は輪番制で行われているところが多いようです。また、実際には多くのマンションでは管理の一部または全部を管理会社に委託しているのが、実情です。この場合プロの管理会社と素人集団の理事会では管理組合の運営に組合員の意思が十分に反映されるものになりません。

NPO法人西宮市マンション管理組合ネットワークは管理組合の役員、組合員の研修会、情報交換会をおこなうことにより、管理組合を本来の主体性のある組織にしたいと考え、約10年前に結成されました。

現在NMねっと独自の活動のほか、西宮市のすまいづくり推進課（旧住宅政策課）と協働事業として西宮市の空家調査を行い、昨年度報告会を行いました。また尼管ねっと（尼崎市のマンション管理組合ネットワーク）とも連携をとり、交流を深めています。

## 【NMねっと情報交換会】

「あなたのマンションの積立金は大丈夫ですか」取材しました。NMねっとの情報交換会は今回で29回を数えます。姫路や尼崎から来た方も含めて30名程の方が参加されています。

情報交換会は一級建築士山長忠良先生からの話から始まりました。お話の内容は「修繕積立金は、マンションの年金積立金みたいなものだ。」と云うことです。適切な額の積立金がなければ、マンションの老後生活が苦しくなることを丁寧に教えてくれました。引き続いて、築年数グループ毎の情報交換会が始まりました。

先生の指摘の通り、かなりの参加者から積立金不足の報告がありました。また、管理組合の

運営の問題や管理会社の管理組合サポートの問題等多くの意見が出され、マンション管理士・建築士の助言を交えながら、積立金不足の対策や管理会社の選定等の問題が参加者同士で話し合われました。情報交換会終了後は、NMねっとメンバーが参加者の具体的な悩みの相談に応じていました。



第29回NMねっとマンション情報交換会

## 【管理組合の活動をお手伝いします】

NMねっとでは研修会、情報交換会のほか「マンション探索」「防災未来祭」等の管理組合への支援メニューを用意し各管理組合に出向き組合行事の支援を行っています。

## 【マンション探索】

自分たちが住んでいるマンションの日頃見られないところを見るイベントです。建築士の方にも同行していただき、注意点等もお伺いします。



## 【防災未来祭】

防災未来祭では下記のようなイベントを企画し備品等の貸出を行っています。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ①防災情報展示      | ⑥紙食器作り      |
| ②非常持ち出し品クイズ  | ⑦救急救命講習     |
| ③防災〇×クイズ     | ⑧担架トライアル    |
| ④水消火器による消火訓練 | ⑨バルコニーの隔壁破り |
| ⑤非常食の試食      | ⑩防災マップづくり   |

〒663-8233 西宮市津門川町12-7-203号

TEL:0798-36-6005 FAX:0798-36-3871

代表者 中野 敬偉子

NMねっと

検索



## NPO 訪問記

No.5

NPO 法人

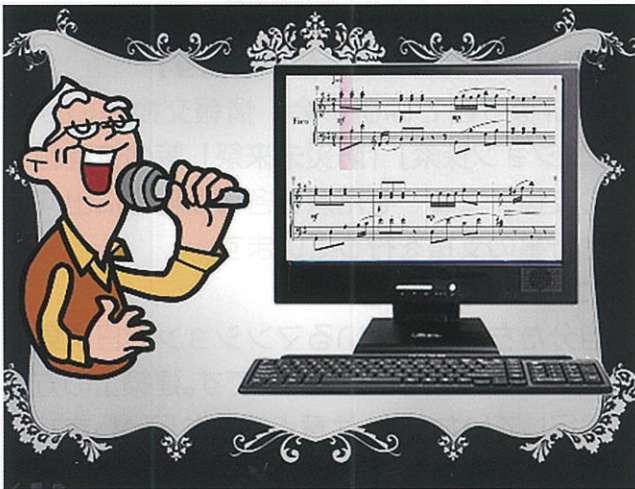
### パソコンを弾く研究会

#### パソコンを弾く？何のこと？

実はパソコンを使って誰にでも音楽を創ることができます。

いろんな楽器の音が入ったソフトにオタマジャクシを読ませるとパソコンは楽器に変身。

その音を記憶、音楽を演奏するオーディオセットになります。

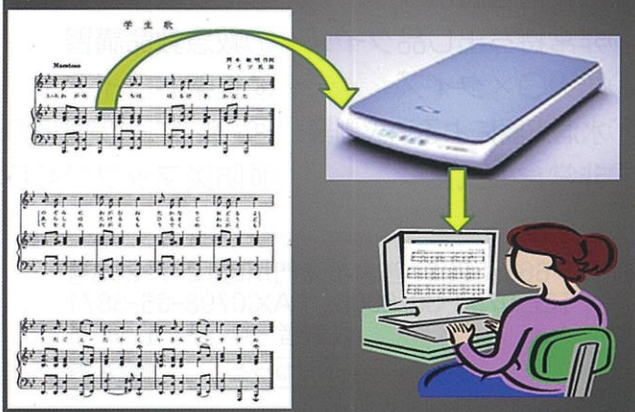


D・T・M……デスクトップミュージックと呼ばれ楽器が無くても楽譜が読めなくても頭の中に浮かんだメロディをハミングすればパソコンが代わって楽譜を書き楽器を当てはめ編曲して音楽を完成してしまうのです。

いわゆる打ち込み作業。

ところが研究会の皆さん、そのような環境の無い十年以上も昔から手間暇かけてパソコンに

#### スキャナに楽譜をセットしPC採りこみ



音楽を演奏させていたのです。

その手法は楽譜をスキャナーで読み取りパソコンにデータを送り込むという古典的なスタイル。

パソコンがすっかり普及した現在、マイクに向かいハミングすればその音を拾って楽譜が出来上がり楽器を当てはめ一曲出来上がり。

また、スマホに向かって、うろ覚えの知りたい曲をハミングすれば音を拾い幾つか似た曲名を教えてくれAmazonのここで買えるという情報まで得ることが出来るなど、メロディはわかるが曲名を知るのに何年もかかっていた昔のことを考えると信じられない夢のような環境ですが、そのようなハード・ソフトの環境が出来上がってない頃から実践していた皆さんに驚きです。



新しいハード・ソフトについていけないので昔学んだ方法でパソコンに演奏させているものと立田さん。

もっと若い人と交流し最新技術にチャレンジしたいと新しいメンバー募集かたがたお話をしていました。



〒662-0866 西宮市柳本町4-37  
TEL/FAX:0798-71-5123  
代表者 立田 英雄



## NPO 訪問記

No.6

NPO 法人兵庫県障害者

## タンデムサイクリング協会

## 雰囲気

甲東小学校から西へ「やくじんさん筋」に向かって交差点を渡ると直ぐに喫茶「笹舟倶楽部」があります。

ここがNPO法人兵庫県障害者タンデムサイクリング協会の事務局となっています。



笹舟の経営者であり又タンデムサイクリングの副代表者である横井昌市さんが対応してくれました。

表には自転車や店の特徴を記すコメント等があり、NPOらしくもあるし周囲の閑静住宅風景とは何か場違いの感もしてお店に入るには少しとまどうかもしれません。

店の中は本が一杯山積みになって座るところも無いぐらい、エエとビックリここで驚いて退散すれば何も得ることはできません。



昔、 Guam 島で戦争終了を知らずに自活して生き延びた同じ名前の「ヨコイ・ショウイチ氏」がジャングルから出てきたように、横井さんが本の中から出てきます。

若い頃から好奇心が強く、二人乗りの自転車も面白そうだからやってみたもので、当初から障害者のためにというような崇高な使命感を持っていたのではないということから、お話は次から次へと展開が広がっていき、引き込まれていきました。

## 二人乗り自転車の活用

視覚障害者の方が自転車に乗るという夢を実現できるものですが、応用の仕方によっていろいろなことに使えます。

後ろに乗る人は自転車に一人で乗れない人でもよいのですが、前に乗る人のリードによって、呼吸を合わせて漕ぐと素晴らしい世界へと導かれます。



応用の仕方の例として「婚活の際の相性テスト」、「夫婦や友達との同乗サイクリング」「各種イベントでのデモンストレーション」その他、思いつくままに試してみると意外な人間関係の発展につながる。

こんな夢を横井さんは語ってくれました。



たんてむ 兵庫県障害者タンデムサイクリング協会

## これからへの期待

少し値段は高いものだけに視覚障害者への補助が充実するとガイドヘルパーさんと共に実用的な面でも役立たせることができると期待していますとのこと。

## 試乗への支援

この風変わりな二人乗り自転車に興味をお持ちの方はお気軽にお問合せください。

試乗・貸出でご協力できるよう努めます。

〒662-0823 西宮市神呪町8-36  
喫茶「笹舟倶楽部」内  
TEL/FAX:0798-20-4653  
事務局 横井 昌市





1. グラスルーツ
2. こころからだ研究所
3. ツーリズム西宮楽らく探見隊
4. 西宮市マンション管理組合ネットワーク
5. パソコンを弾く研究会
6. 兵庫県障害者タンドেমサイクリング協会

### アンケートの集計とコメント

平成26年秋に実施しましたNPOの皆様への啓発事業に関するアンケートを集計しましたがその概要は次の通りです。

**協力依頼文発送先数 216団体**

**回答数…50団体 回答率…23%**

事務所形態

専用…44% 自宅等と兼用…56%

正会員数

10人未満…6% 10～29名…59%

30人以上…35%

有償スタッフ

0人…60% 1～9人…30% 他…10%

ボランティア

10名未満…81% 10名以上…9%

主な活動

保健・医療福祉の増進	32%
子どもの健全育成	13%
社会教育推進	13%
学術文化芸術スポーツ	10%
まちづくり	9%
中間支援	4%
その他4項目計	19%

その他の設問もありましたが記述による回答のため計数的な集計はできていませんが、貴重なご意見として今後の啓発事業の参考とさせていただきます。

### 編集後記

西宮NPO等啓発事業の広報は年1回の「ガイドブック 発行」「宮っ子への記事掲載」というスタイルが続いていました。

それぞれに有効な啓発媒体となっていました。読んでいただく市民の皆様と事業に携わるNPOの側とが誌面を通じて何らかの交流ができる機会にもしていきたいという意見もありましたので、広報誌という方法を取り入れてみることにしました。

市内のNPOを逐次紹介していくことを主な内容にしていますが、広報担当者が訪問し第三者として印象に残ったことを中心として書くという方法を取っています。

慣れないことへの挑戦で大変なところもありましたが、担当者の感想コメントの一部を紹介すると、「市民活動パワーをしっかりと感じる事ができました、脱帽」「マンション管理組合の役員さんたちが研鑽を積まれているのに頭がさがりました。」

「人生経験と将来像を重ねて行動する姿勢に感服」等と取材者にとっても素晴らしい体験をすることができました。

**ご感想やご意見をお寄せください**

NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会

〒662-0854 西宮市櫛塚町2-20西宮商工会館本館3F

NPO法人コミュニティ事業支援ネット内

Tel:0798-23-3738 Fax:0798-23-3748

Email:info@comisapo.com